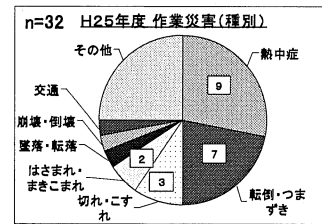
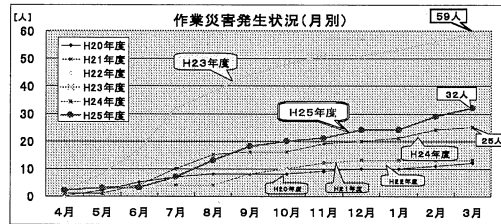


福島第一原子力発電所 作業災害発生状況 (H25実績、H26活動計画)

1. H25年度の災害発生実績

(1) 実績

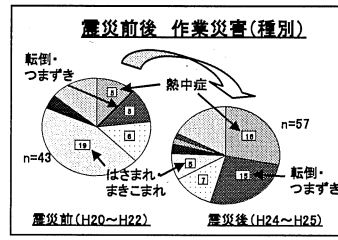
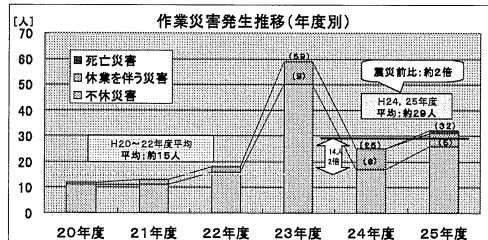
- ・震災後、作業により死亡災害が初めて発生 (3/28)倉庫基礎杭部の地盤掘削作業(55歳:男性)
- ・災害発生件数も増加(32人)



・H25年度の災害の特徴
:熱中症と転倒・つまづきが半数を占める

[震災前後の比較]

- ・震災時(H23)に比べ減少しているものの、震災前の約2倍
- ・震災以降では、休業を伴う災害(重傷、軽傷Ⅰ、軽傷Ⅱ)が減少



・震災後の災害の特徴
:熱中症と転倒・つまづきが増加、はさまれ・まきこまれが減少

(2) H26年度の活動計画

H26年度は、多発している転倒・つまづき災害を防止するため、作業環境の改善として、全面マスクの着用省略化に伴う視界の広い防塵マスクの使用拡大(防護装備の適正化等)、瓦礫の撤去による安全通路の整備等に取り組む。

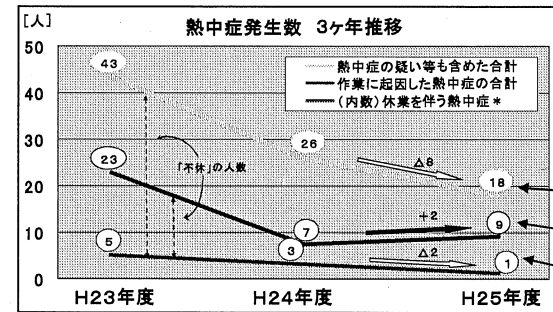
更に労働環境の改善として、救急医療や休憩所等の一層の整備を進める。

また、工事毎の事前の安全検討や作業に潜むリスクの抽出、現場での基本動作や安全ルール遵守の徹底を継続実施する。

なお、死亡災害の原因究明を踏まえて、必要な対策を水平展開する。

2. 熱中症予防対策(個別詳細)

(1) 実績 予防強化対策期間:平成25年5月~9月(5ヶ月間)



○H25年度は、熱中症の発症数が抑えられ比較的軽い症状で収まった

- 連続して減少
- 前年度からほぼ横ばい
- 連続して減少

* H23年3月(H22年度)の発生は含まず

(2) H26年度の活動計画

H25年度は、熱中症の発生数の低減が図られたことから、H26年度はH25年度の活動を継続し、その対策の徹底と定着化を図る。

- ① 予防対策強化期間:5~9月、炎天下作業制限[14~17時]:7,8月
- ② クールベストの着用等の徹底
- ③ 体調不良の早期申し出と、救急医療室での早期受診
- ④ WBGT値に基づく作業管理
- ⑤ チェックシートを用いた体調確認
- ⑥ 急激な温度変化に対応する体調管理(熱順化*)の実施

*:熱順化:作業の実施にあたって、気温差の少ない場所での作業や軽作業、短時間作業等から行うことにより、作業場所の環境(気候)に身体機能を適応させること

福島第一原子力発電所 平成25年度作業災害一覧表

(別 添)

NO.	年月日	災害概要	種類	傷害程度
1	4月15日	配電盤上部の清掃中、他の場所への移動のため安全帯を親綱から外したところ、足を滑らせ墜落して負傷	墜落・転落	重傷
2	4月22日	船上においてH形鋼のガス溶断作業を実施中、船舶の動揺によりH形鋼が転がり落ち、足のつま先にあたり負傷	はさまれ・まきこまれ	不休
3	5月30日	原子炉建屋カバリング工事の手摺り取付作業において、足場上を移動中、突起物に接触し負傷	その他	不休
4	7月9日	セシウム吸着塔一次保管施設でのコンクリート打設部のシート養生作業において、作業終了後に体調不良者の発生	熱中症	不休
5	7月10日	雑固体廃棄物焼却設備建屋でのコンクリート打設作業において、体調不良者の発生	熱中症	不休
6	7月12日	雑固体廃棄物焼却設備建屋での測量作業において、鉄筋より足を踏み外し負傷	転倒・つまずき	不休
7	7月18日	地下貯水槽貯留水移送時に使用したホースの片付け作業においてホースの移動中、体勢を崩して転倒し負傷	転倒・つまずき	不休
8	8月5日	雑固体廃棄物焼却炉設備建屋での足場板の位置を調整中、足場板角に指をぶつけ負傷	切れ・こすれ	不休
9	8月7日	取水設備エリアでの地質調査用観測井戸の設置作業において、作業終了後に体調不良者の発生	熱中症	不休
10	8月8日	雑固体廃棄物焼却設備建屋でのコンクリート打設作業において、体調不良者の発生(1)	熱中症	不休
11	8月8日	雑固体廃棄物焼却設備建屋でのコンクリート打設作業において、体調不良者の発生(2)	熱中症	軽傷Ⅰ
12	8月26日	取水設備エリアでの滞留水移送ラインの敷設作業において、作業終了後に体調不良者の発生	熱中症	不休
13	8月29日	集中環境施設での水位計取付作業において、作業終了後に体調不良者の発生	熱中症	不休
14	9月4日	屋外取水設備のポリエチレン管敷設作業において障害物の撤去作業中、取水設備に手をぶつけて負傷	その他	不休
15	9月10日	事務本館から免震重要棟への連絡通路において、入口天井に取り付けてある鋼管の固定クランプに頭部をぶつけ負傷	その他	不休
16	9月12日	敷地造成のための土砂敷き均し作業において、体調不良者の発生	熱中症	不休

NO.	年月日	災害概要	種類	傷害程度
17	9月12日	免震重要棟において防護マスク(N-95)を装着する際、マスクを右目に接触させ負傷	その他	不休
18	9月30日	セシウム吸着塔一次保管施設において、橋型クレーンと移動式クレーンへが接触し、移動式クレーンの運転手が負傷	その他	軽傷Ⅱ
19	10月7日	原子炉建屋上部において遠隔操作式大型クレーンの組立作業中、治具とクレーン部材との間に指を挟み負傷	はさまれ・まきこまれ	不休
20	10月29日	原子炉注水ライン敷設のためのコンクリートモルタル等の運搬作業において、作業終了後に体調不良者の発生	熱中症	不休
21	11月8日	タービン建屋地下1階において建物調査(ひび割れ状況)を実施中、点検架台上で足を踏み外し負傷	転倒・つまずき	不休
22	12月3日	雑固体廃棄物焼却設備建屋でのデッキプレートの設置作業において、デッキプレートの端部で指を切り負傷	切れ・こすれ	不休
23	12月24日	配電盤新設工事において発生した残土を搬送中、車両を横転させ負傷	交通	不休
24	12月27日	タンク周辺土の置換作業において、大型土のう袋(空袋)の運搬中、路面の凹凸に足を取られてつまずき負傷	転倒・つまずき	重傷
25	(H26) 2月5日	事務所から免震重要棟への移動中、凍結した階段で足を滑らせ負傷	転倒・つまずき	重傷
26	2月8日	降雪による滑り防止として、休憩所の出入口に敷く毛布を運搬中、足元の段差を踏み外し負傷	転倒・つまずき	不休
27	2月18日	タンクエリアにおいて工事用道路鉄板の移動作業中、トレーラーの荷台から飛び降り負傷	転倒・つまずき	不休
28	2月25日	免震重要棟更衣所において、脱いだ靴を床に置こうと屈み込んだところ扉が開き、ドアノブが額に当たり負傷	その他	不休
29	2月27日	物揚場での削孔作業において、外れそうなエアースーツを確認した際、エアースーツのコネクタが外れて顔を負傷	その他	不休
30	3月14日	セシウム吸着塔一次保管施設において鉄板敷設作業中、鉄板下の角材を抜き取る際に角材が跳ね上がり負傷	その他	不休
31	3月18日	タンクエリアにおいて連結管への保温材取り付け作業中、配管接続部の金具に足をぶつけ負傷	切れ・こすれ	不休
32	3月28日	固体廃棄物貯蔵庫の基礎杭補修作業において基礎部の掘削中、均しコンクリートと土砂が崩れ死亡	崩壊・倒壊	死亡

* 本一覧表は、作業安全の更なる向上を目指す事を目的として集約
 * 死亡:死亡 重傷:休業日数が14日以上 軽傷Ⅱ:休業日数が4日~13日
 軽傷Ⅰ:休業日数が1~3日 不休:災害当日のみ休務